



令和5年4月11日(火) 晴 No. 36



▲会長挨拶



▲大辻社会奉仕委員長

会長の時間

会長 芝本 忠雄

皆さん、こんにちは。

4月に入り、年度初めと言うことで各企業では入社式が举行される等、慌ただしい一連の行事も終わり、平静を取り戻したのではないのでしょうか？

ただ、地域の子供たちは新学期を迎え、入学式、クラス替え等まだまだ落ち着けない状態です。特に交通安全にはくれぐれもお気をつけて戴きたいと思います。

先日の日曜日には統一地方選挙でここ兵庫県では県議会議員選挙が行われました。ここにいらっしゃる皆さんは何らかの立場で選挙に関わっておられたのではないかと思います。大変お疲れ様でした。いろいろあった選挙でしたが、結果で大変気になったのは投票率のことで、34.5%と近年非常に低迷しております。昔から高齢者は選挙によく行かれると言われます。それは戦前、我々庶民には参政権が与えられていなかった、参政権が無かった時代を経験していたからではないのでしょうか？戦後20歳以上男女問わず、参政権が与えられ、自らの意思を投票行為で表すことが出来るようになったことで、その喜びと重要性を認識していたからこそ、投票行為を大切に考えたからこそ、投票率が高かったのではないかと思います。投票権があるわけですから、義務を果たして頂けたらと思います。ただ、投票率が100%でしたら、結果は全く変わっていたかもしれません、世の中が全く変わっていたかもしれません。そう思うと非常に考えさせられることだと思います。

さて、ロータリークラブ活動ですが、先週お話しすべきだったのですが、今月は「母子の健康月間」になっております。「母子の健康」と言われても我々の場合、家族を通して家内安全、健康維持増強を願うばかりではないかと思います。当クラブでは、社会奉仕活動の一環として捉えています。

本日の例会は、社会奉仕委員会に担当戴き、本年度スタート時に会員の皆様にアンケートを取りました事項について発表戴きます。そして本日夕刻に次年度第一回役員会が開催され、次週の例会、次々週の例会と次年度の委員会についてのクラブ協議会を開催させて戴きます。そして29日には恒例の地区の次年度セミナーが開催されることとなっております。まさに次年度モードに入っております。ただ、本年度としても今週15日土曜日には奥様会が開催されます。しっかりと務めて参りたいと思っておりますので、当日参加予定の方には、よろしくお願ひ申し上げます。

以上で、会長の時間を終わらせて戴きます。
本日もよろしくお願ひ申し上げます。

幹事報告

- 1) ☆他クラブニュース
例会変更のお知らせ
高砂RC ◇5月 5日(金)→休会
◇5月12日(金)→5月14日(日)家族移動例会
観劇「平成中村座姫路城公演」
◇5月19日(金)→休会[定款第7条第1節(d)]
高砂青松RC ◇5月 3日(水)→休会

次年度第1回理事会

2023年4月11日(火) 午後6時～
於：東京田村

《審議事項》

- 1) RIテーマ及び会長方針の説明
釜谷会長からRIテーマ及び会長方針の説明がされた。原案通り承認。
- 2) 組織表に関する件
原案通り承認。
- 3) 年間行事予定に関する件
原案通り承認。
- 4) 出席免除申請に関する件
原案通り承認。
- 5) はぐるまの家年会費納入に関する件
例年通り第1期分会費請求(7月)と一緒に3,000円集めることで承認。
個人にも支払依頼が郵送されますが、クラブで負担済みであることをお知らせする。
- 6) 助成金・協賛金・広告等年間歳出金に関する件
原案通り承認。
- 7) 大山重勝会員職業分類変更に関する件
2023年7月より文房具製造を、鞆・鋸製造 に変更することで承認。

ニコニコ



- 省 略 ☺ 社会奉仕委員会大辻委員長、本日の卓話よろしくお願ひいたします。
- 省 略 ☺ 卓話です、宜しくお願ひします。

- 省 略 ☺ 長期欠席のおわび。
このたび宮司交替しました。今後ともよろしく願います。
- 省 略 ☺ 大社会員、米山の協議会出席して頂きありがとうございます。
本日のフォーラム楽しみです。
- 省 略 ☺ 大社会員、本日のフォーラムご苦労様です。
- 省 略 ☺ 大辻さん卓話楽しみにしております。副委員長のすることあれば
頑張ります。
- 省 略 ☺ 結婚記念日の花ありがとうございました。今年も助かりました。
- 省 略 ☺ 卓話大好きな大社会員、お話し楽しみににしています。
- 省 略 ☺ さきほど12:49、逆子で帝王切開した長女の2人目の子(長男)
が産まれました。私には3人目の孫です、うれしいです！
- 省 略 ☺ テーブルの花いただきます。

以上10件 ¥23,000-
本年度累計¥1,774,000-

出席委員会

☆ 今 週 会員数 68 名 出席 42 名 出席免除 10 名 欠席 16 名
☆ 欠 席 者 省略

☆ 前 々 週 会員数 71 名 出席 41 名 出席免除 16 名 欠席 14 名
☆ メークアップ 加古川平成 RC 4/5 衣笠、桑田圭、高浜、高田
加古川中央 RC 4/6 大山、畑、衣笠、久後、藤村

親睦活動委員会

例会場当番

4月18日(火) 穴田、湖中

4月25日(火) 吉田、釜谷



プログラム委員会

本日4月11日(火)	4月18日(火)	4月25日(火)	5月2日(火)
フォーラム 「社会奉仕アンケート 結果報告」 大辻社会奉仕委員長担当	次年度委員会 I	次年度委員会 II	例会取りやめ [定款第7条 第1節(d)(1)]

被災しながらも救援に尽力するヒーローたち

文： Orly Halpern

2月6日、午前4時過ぎ。ここ数世紀で最も死者数の多い大地震が、オヌル・カラバイさん一家の住む6階建てアパートを大きく揺るがしました。

「1分半にわたって建物が激しく揺れた」とカラバイさん(ガズィアンテプ・イペキオル・ロータリークラブ会員)は振り返ります。

カラバイさんが住むトルコ南部の都市ガズィアンテプは、震源地の近く。妻とともに大声を出して二人の子どものあるところに駆け寄り、靴や上着、電話、カギなど持てる必需品をかき集めて玄関まで行ったときに、最初の余震が来ました。

アパートから出て市外の田舎にある平屋建ての家に避難しました。一部屋に約 25 人が寝泊まりして寒さをしのぎ、電気はなく、冬の夜の気温は零下にまで下がります。

マグニチュード 7.8 の地震、そして相次ぐ余震により、トルコとシリアで数万人が命を落とし、複数の都市の大部分ががれきと化しました

家や持ち物を失いながらも何とか避難した数万人のトルコ・シリア市民と同じく、アフメット・イルケル・スアットさん(ガズィアンテプ-アレベン・ロータリークラブ会長)は行き場を失い、妻・娘と一緒に車内で寝泊まりしています。

「大勢の人が屋外で寝ている」とスアットさん。「トイレも水もありません。とても寒いので、人びとは火を焚いて暖を取っています」

こうした苦難にもかかわらず、カラバイさんとスアットさんは、自分たちのようにすべてを失った人びとを助けたいという思いで、すぐに市内と国内のほかのロータリー会員に連絡を取りました。

ガズィアンテプでは、ロータリアンの家族が経営する学校に物資配給所を設置し、日に 500 人分の食事を提供しています。また、教室や廊下を宿泊所に変え、人びとが利用できるよう学校のトイレを開放しています。

国のほかの地域のロータリアンたちは、食料や水、衣類、毛布、そのほかの必需品をトラックで被災地に運んでいます。

同じく大きな被害を受けたアダナ市では、物資を積んだ複数のセミトレーラーが、カジム・アパさん(アダナ・ロータリークラブ会員)の工事現場に届けられます。

「各地から物資が送られてきます」とアパさん。がれきが散乱した市内では大きなトラックを運転できないため、ほかのボランティアたちとともに、届いた物資を小さな車に積み変えて人びとに届けています。

震災後ずっと電気がなく、夜には町が暗闇に包まれます。

母親の住むハタイの状況について、アパさんはこう言います。「携帯電話の明かりだけで過ごしています。車のバッテリーを使って携帯電話の充電をするために、長い列ができます。親戚に電話をするためです」

トルコ国内のロータリークラブは、テント、衣類、ヒーターなどを寄付したほか、簡易シェルターとして利用できるよう輸送コンテナを購入しようとしています。国内のロータリーのリーダーは、シェルターボックス、ハビタット・フォー・ヒューマニティ・インターナショナルと定期的に連絡を取りあい、サポートや被害状況に関する情報を提供しています。

国際ロータリーのジェニファー・ジョーンズ会長は、地震から数時間後に被災地のロータリー地区に連絡し、災害救援補助金の申請を促しました。また、支援を募るために現地での救援活動に関する情報提供を呼びかけました。

さらなる支援が切実に必要とされてはいるものの、アパさんをはじめとするロータリアンたちは、復興に向けた決意と強さを仲間と共有できることに慰めを見出しています。「私たちの根はこの地でまた大きく育っていきます」とアパさんは語ります。